



2020-2021
No.1612
2020.7.16

会長：山田 晃 幹事：高橋昭紀
 会員数：44 会場出席：35 欠席：9
 出席率：79.55% 前々回出席率：84.09%
 点鐘：山田 晃 会長 司会：武井順一 S A A
 ロータリーソング：奉仕の理想（タクト：赤井幸夫）
 例会場：ホテルペラヴィータ 3F 12:30～

会長の時間

山田 晃 会長



本日は『週刊利根』7月5日号の記事から紹介します。

その中に、私が生まれた昭和29年についての興味深い話題がありました。

その年、町村合併が行われ沼田市が誕生しました。

記事によると、4月1日に三発の花火を合図に住民待望の沼田市が誕生。人口4万2342人だったそうです。

7月1日には警察制度が開始され、この地に沼田警察署が発足したそうです。そして7月14日には義宮様(常陸宮様)が尾瀬に行くために沼田にいらしたと記録されています。沼田駅前は大勢の市民で埋まったそうです。

次に8月26日からの三日間、七夕まつりコンクールがあり二百軒の商店が参加して美しく町を飾り、見物人が三万人あったそうです。

次に、総工費1091万円もかけて木造建築で県下一といわれる沼田中学校の体育館が、9月5日に完成したとあります。

また上越線の乗り入れが実現し、11月3日、沼田駅のホームに電車が到着したとあります。同じく11月3日に沼田公園グラウンド始まって以来というおよそ二万の観衆を集めて、第1回市政記念市民運動会が行われたとあります。

昭和29年、沼田市ではいろいろなことが記念として行われました。ミス沼田ができたのもこの年。そして沼田町当時から計画されていた沼田市民館は、4月28日に完成しました。総工費は470万円だったと聞いています。

幹事報告

高橋昭紀 幹事



①新入会員の推薦がありました。異議申し立てがある方は1週間以内に書面にて提出願います。

②山田ガバナーより、毎月ガバナー月信のチラシを会員の皆様に配布致します。

③館林ミレニアムRCは、5月30日に予定していた20周年記念式典を新型コロナウイルスの為中止と致しました。

④再来週、ガバナー補佐の訪問がありますので大勢の出席をお願いします。

⑤現況報告書の作成にあたり、写真や記載項目を変更されたい方は早めに提出して下さい。

⑥各委員会の会議を行った際、代表者は出席者の報告を管理運営委員会にして下さい。

⑦次週例会は祝日の為休会となります。

米山功労クラブ表彰



地区より委嘱状の伝達



生方彰君

2019-2020 スマイル上位表彰者 (敬称略)



赤井幸夫・小林照夫・國府田坦・生方彰・北野浩司郎・林秀彦・山田晃

2019-2020 100%出席表彰者 (敬称略)



赤井幸夫・石坂一男・生方彰・小澤博之・北野浩司郎・小曾根一雄・小林照夫・高橋昭紀・原澤ふじ子・宮田美行・本山佳宏・山田晃



山田 晃

朝から仕事もせずに、2020-21年度のクラブ運営方針・会長の時間のことを考えていたら、ボックスインのことは考えられませんでした。

高橋 昭紀

- ①先週の初例会には、多くの会員の皆様に出席して頂きありがとうございました。
- ②それからスマイルでは、温かいお言葉に感謝と、金井利夫さんには高額ボックスインありがとうございました。

北野 浩司郎

先週、体調が悪かったので早退しましたが、そのおかげで食事がピタンコだったと聞きましたのでボックスインします。今日もピタンコでした。

國府田 坦

7月初めから梅雨前線が九州に停滞して、熊本・鹿児島を中心に西日本に降った豪雨が特定非常災害をもたらしたが、私共の利根沼田には大きな被害はなく、本日の日本晴れに感謝してBox inします。

小林 照夫

新型コロナウイルス感染症は緊急事態宣言の解除以降、感染者が多くなっている。第2波、第3波にならぬ事を祈ってBox inします。

堤 康喜智

妻の誕生日にお花を頂きまして、いつもいの一番にありがとうございます。

お客様



NPO法人結いの家 代表 尾崎さん

『もったいないプロジェクト』についての紹介。

2020-2021年度 会長所信表明

山田 晃 会長



〈生涯ロータリアン〉

もし五大奉仕に順番を付けるとしたら、今の状況では一番は職業奉仕でしょう。我々ロータリアンは職業人としてまた知識人として、技能・知識を通じて社会に役立つことが大切です。

今年はコロナと共存する非常に難しい年であります。クラブ例会日に仕事で休むことは構いません。開始時間になったら心の中で『奉仕の理想』を歌って下さい。同時に次回出席したときは500円ボックスインして下さい。なぜなら、あなたに会えなくてメンバーが悲しんでいたからと思って下さい。二番目の理由はクラブ奉仕です。三番目の理由が社会奉仕です。ロータリーは社会奉仕する団体と思う人が多いですが、職業奉仕・クラブ奉仕がなくて社会奉仕はありません。

コロナと共存する時代に、現会員と新しく入会した会員が物理的また経済的理由以外で退会する事なく、生涯ロータリアンでいられるような改革改善を、コロナで停滞している今こそ会員とともに協議対話していかなければならないと思います。

ここで前回会長だった時のクラブ運営方針を語ります。今も当時と全く同じ状況下にいると思います。当時の私のテーマは『沼田中央の希望（未来）を語りみんなで実践しよう！』でした。私が入会した平成2年頃からしばらくの間は、他奉仕団体が羨むほど沼田中央RCは活気に満ち溢れ、社会奉仕・職業奉仕のみならず、例会・炉辺・委員長会議・理事会と、また会報・スマイル・ロータリー情報と充実していたと思います。それはなぜかと考えてみますと、当時40代～50代前半、また比較的ロータリー歴の浅いメンバーが中心で動いていたからであります。

そして今、先輩達が培った沼田中央RCの底力を現在の40代～50代前半、そして比較的ロータリー歴の浅いメン

バーも確実に自分達のものにし実行しようとしています。全員がリーダーとしてクラブ活力の再生を図り、地域社会への発信力となり奉仕をみんなでやり遂げましょう。

まず会員増強についてですが、全会員が持っている魅力・活力・能力・個性・資質を發揮できるようなクラブ改革を行えば、自然に会員増強につながると思います。

次にクラブ奉仕です。今年はクラブ発足35周年に当たります。今後のコロナ感染の状況を見なければ分かりませんが、35周年式典・祝賀会は縮小する事も検討しています。35周年実行委員会の構成案は、コロナで状況が大きく変わった今、見直しを行っております。皆様にはご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。記念事業を含め、出来るだけ早く発表したいと思います。

今年の活動方針、当クラブのスローガン『つたえ・ひろめ・ロータリーの未来へ』のもと、次のように考えています。

- ①「つたえ」の意味は、一般市民へロータリーを知ってもらうことだけではなく、後輩ロータリー会員にロータリーの価値観を伝え、欠席しがちな会員の退会防止のため、現会員が若手会員と交流すること。
- ②「ひろめ」は、沼田中央RCの活動内容を知ってもらうこと、我がクラブの会員の魅力を知ってもらうこと。
- ③35周年に向け、前年から引き継ぎクラブの名称変更を行いたい。
- ④クラブの通例でいくつか疑問に思っていることを検討していきたい。
- ⑤クラブ改革に必要なものは会員の皆さんから上程して下さい。

我がクラブは、ロータリー歴50年以上が3人、40年以上が3人、30年以上が2人いるクラブであり、年齢構成では次世代の主力になる40代が21%、50代が23%おります。そのクラブの特徴を活かし、ロータリアンとしての楽しみを若い会員に伝え共に力を合わせてクラブ発展のため、またクラブ35周年のため一丸となってこの一年を過ごしましょう。